

JAPAN SOCIETY FOR
TRENCHLESS TECHNOLOGY



〈読者応募作品〉

四季の鳥・夏 (スズメとひまわり)
撮影 名執修二

この写真の二羽は親子なのでしょうか。巣立ちしたばかりの幼鳥はしばらく親から餌をもらう必要があります。甘えた声で鳴き羽を震わせていると親が飛んでくるということになっています。スズメもいろんな声で鳴くので、朝の5時くらいから8時くらいまでの時間経過も分り、時計代わりにしていたと「鳥が教えてくれた空」(集英社文庫)に書いているのは、4歳で視力を失った三宮麻由子さんです。この本によると、スズメの鳴き声でその日の天気が晴れているのか雨なのかも分かり、野良猫が近くにいても分かるかと思われています。野鳥観察を始めてしばらくして、野鳥の声の響き方でその場の風景も立体的に想像できるようになったそうで、本の題名にも繋がったようです。また、繁殖時にオスがメスに餌になる魚をプレゼントして求愛するカワセミなどの映像はテレビでも紹介されることがありますので、ご存知の方もいるかと思えます。こういう求愛行動は昆虫の世界にもあり、その方法は多様性がありますが、どの世界でもオスがメスを守る行動も共通しているようです。

(緑の森倶楽部)



さいたま緑の森博物館

〇提携媒体

Trenchless International

目次

3	●写真速報 長距離推進工法・既設鉄道設備との近接施工の現場見学会を開催 NASTT'S No-Dig Show 2019/小口径管改築推進工法KRM公開実験	
5	●特集/管路の非開削改築技術	オリジナル設計(株)(本誌編集委員) 浅井 岳春
6	●特集のねらい	
6	・総論 改築推進工法が必要とされている背景	機動建設工業(株)機動技研所長 森長 英二
9	・無排土推進が生み出すコンパクト設備の改築推進工法 —EXP工法の概要と昨今の施工事例—	EXP工法協会 佐藤 徹
14	・KRM(小口径管改築推進工法)の開発	機動建設工業(株)土木本部次長 小森 恭司
19	・改築推進技術ベルリプレイス工法 ~改築推進への挑戦~	ベル・ミクロ工法協会事務局(真柄建設(株)) 苗田 徳照
25	・旧管を破碎しながら同時に新管を挿入するインパクトモールPRS工法	インパクトモール協会技術部長 前川 英昭
29	・リバースエース工法を用いた老朽化した塩化ビニル管の改築推進工事	アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部 永井 貴大
34	・老朽化した既設管路を新設管路に甦らせるCMT改築推進工法の開発と施工事例	CMT工法協会広報担当 岡村 道夫
43	・SH工法, SHミニ工法及びUPRIX工法による既設管路改築の提案	SHスーパー工法協会技術員 篠木 拓哉
48	・ダクタイル鋳鉄管非開削入替工法(STREAM工法)の適用拡大	東邦ガス(株)供給管理部供給技術グループ 横山 愛美
54	・多目的モバイルポンプユニット「BETSY」	ラサ商事(株)機械事業開発部長 川戸 俊克
60	●会員談話室 ハワイでの拳式と観光	オリジナル設計(株)水インフラ本部署上水道部水道課 大沢 篤郎
62	●海外イベント報告 アメリカの非開削技術 ~No-Dig Show展示会より~	(一社)日本非開削技術協会事務局 近藤 恭子
68	●国内イベント報告 小口径管改築推進工法KRM公開実験を開催	No-Dig Today編集室
71	●研究所紹介 積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー総合研究所紹介	積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー総合研究所商品開発センター 上田 一貴
76	●事務局報告 非開削技術 ▶ 現場見学会の紹介	(一社)日本非開削技術協会事務局長 角川 順洋
78	●UP DATE	
80	●Back Number	
83	●委員会	
84	●編集後記	(株)三水コンサルタント(本誌編集委員) 長島 隆幸

※特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。
※技術記事などにはキーワードを付与しています。これによりJSTTホームページでの検索ができます。

表紙の写真:カンカル 自転車で坂を登る少女(フランス)
フランスのSTTはパリの東部郊外に位置するフォントネー・ヌー・ボワにあります。写真はその北西部ブルターニュ地方に牡蠣の養殖で知られるカンカルという町です。モンサンミッシェル付近の人気の観光スポットで、温暖な気候で一年中快適に過ごせる町です。